

最近の雇用失業情勢（令和8年7月の内容）

1 県内概況

「有効求人倍率は1.27倍（季調値）」（前月から0.03ポイント低下）

〔概況〕

- 「雇用情勢は、**改善の動きが弱まっている**。物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。」
- 有効求人倍率は**前月から0.03ポイント低下**。

〔基調判断〕

- **《情勢維持》**

〔判断根拠〕

- 有効求人倍率が低下しているが、一時的な動きも含めて、今後の状況を注視する必要があるため。

2 各指標の動向

新規求人数はサービス業、建設業等で増。公務・その他、卸売業・小売業等で減。

〔新規求人数〕

当月：4,457人 サービス業、建設業等の増員により+10人
（前年同月 0.2%増）

〔産業分類別〕

- 「増」（対前年同月比）
【サービス業】当月：512人 前年同月：+64人
【建設業】当月：462人 前年同月：+44人
【製造業】当月：533人 前年同月：+43人
- 「減」（対前年同月比）
【公務・その他】当月：42人 前年同月：-28人
【卸売業・小売業】当月：546人 前年同月：-60人
【運輸業・郵便業】当月：260人 前年同月：-8人

〔地域別求人倍率〕

【鳥取所】当月：1.11倍 前年同月：+0.02P
【米子所】当月：1.31倍 前年同月：+0.02P
【倉吉所】当月：1.31倍 前年同月：-0.09P

〔正社員関連〕

有効求人倍率 1.08倍（3か月ぶりに前年同月を下回る）
→全国指標 0.98倍（12か月連続で前年同月を下回る）

〔新規求職者数〕

当月：1,908人（前年同月0.4%増）